

卒業生は今

真亀保育園保育士 下藤 聖子(初教22期生)

文教を卒業して、もうすぐ3ヶ月が過ぎようとしています。初教の先生方、学生のみなさん、お元気ですか？私は今、広島市安佐北区にある真鶴保育園で保育士として働いています。学年をとて楽しく、充実した毎日を送っています。と言いたいところですのが、現実は大きく違います。学生と社会人のギャップに悩んだり、子どもたちとの関わり方で悩んだり、体力的ななきうさに悩んだり、本当に悩みや不安の多い、辛い毎日なのです。この3ヶ月間で何度、「もう辞めたい！」と思ったことでしょう。それでもなんとか続けていられるのは、「せんせ

い！」と駆け寄ってきてくれる可愛い子どもたちがいるからだと思います。私が担任しているうさぎ組は、1歳児15人です。中には深刻な家庭の問題を背負っている子どももいます。未だに私に慣れず「いいやいや」をくり返す子どももいます。色々な子どもがいますが、やっぱり子どもは可愛いものです。張り切って大好きなアンパンマン体操に取り組む姿、気持ち良さそうにお昼寝をする姿、フーケーと手掴みでワイルドに食事をする姿

等、本当にどの子どもも可愛らしく、愛らしいです。子どもたちには皆、小さいながらも「日」を精一杯生きているんだなあと、毎日一つ一つと書きさせられていま、す。そんな子とともにためらうことなく、自分たちのためとしてから修業や自己学習等を通して保育の力を高めていきたいと思っています。

最後に、私は、辛くてどうしようもない時、文教で出会った友たちを思い出しています。きっとみんなも今頃必ず死に働いているはず!! と思うと、私も頑張らなければいけないわけにはいきません。またある時には、文教の先生方を思い出します。きっと変わらず私の応援



いる私です。在学生のみなさんも、文教で出会った仲間を大切に、残りの大学生活を実りあるものにしてくださいね!! 応援しています!!

ホットニュース

広島文教女子大学教育学会の ホームページが できました！

岡先生のご尽力と、学生運営委員の田口さん、谷さんの協力により、念願の学会ホームページができあがりました。内容は、学会の概要、規約、学会誌などについて知ることができるだけではなく、なんとわれらが初教かわらばんのパックナンバーも閲覧できます。インフォメーションのコーナーでは、初等教育学科関連の最新ニュースも掲載されています。是非、一度は覗いてみて下さい。下記の手順、あるいは URL を使って是非一度アクセスしてみてください！

- ・本学ホームページ (TOPページ)
　　大学 初等教育学科
　　学科オリジナルページはこちら

広島文教女子大学HP
<http://www.h-bunkyo.ac.jp/koho/>
広島文教女子大学教育学会HP
<http://www.letterpress.co.jp/bunkyo/>



「根」の老

学科長
金舛 俊乍

休みにはよく散歩をする。かかりつけの医者に勧められたこともあるが自分の意志もある。場所は近くの公園で、午前中一時間、午後一時間歩く。実際に気持ちいい身体に。散歩道は木々に囲まれていて空気も美味しい。ぜひ皆さんにも散歩をお勧めしたい。

散歩をしていて気付いたことがある。それは「木の根っこ」である。普段は木は見ているが根っこまで見ることはない。大きな木を支えている根っこの逞しいこと、丈夫なこと。そして、地面深く張り付いていることである。意識して根っこを見るを得ない。木は根っこに根っこがあるのに何の心も存在感を示していないのである。

最近、教育の現場では、基礎学力を伸ばす指導、「基礎・基本の定着を図る指導」の重要性が問われている。研究テーマに挙げ実践している学校もある。

しかし、基礎とは、基本とは、と問われる
と曖昧な返答が返ってくる。私は思う。基
礎とは木の根っここの部分である。それは
素質であり、態度であり、意欲である。い
わば、目に見えない学力の深層の部分であ
る。この深層を鍛えてこそ人間は自らの力
で成長していくのではないか。自分と
いうかけがえのない素質に磨きをかける。
強靭な態度を鍛える。好奇心に溢れる意欲
を育てる。このことが自分らしい生き方の
基礎となるのである。木の根っこがそうで
あるように……。鍛えられた根っこからは
強い幹（思考力・創造力・操作力）が育ち
強い幹からは美しい枝葉（知識・技能）が
広がり伸びていく
のである。
最近の
子どもた
ちを見て
このよう
なことを
考えてい
る昨日で
ある。



初教 KAWARABAN

第8号
2006.7.26

広島文教女子大学 教育学会

5月末のある晴れた日、広島経済大学にお勤めの倉田侃司先生を私たち（山田悦子14期生・河村裕子16期生）が訪ねました。先生の懐かしい笑顔と美しい景色が出てくださいました。

●授業スタイル
先生といえ
ば、「時間厳
守」ですよね
卒業生のみ
なさん、教
室のドアノブ
にかけてあ
たカーボ（写真）を覚えててあります
現在は使われていませんが、研究
飾つてあたものを撮影させてい
きました。先生の授業スタイルは
前では少し変わられたそうですが
本にある「精神」は今もお変わり
ません。

例えば、学生に遅刻を注意され
とはなくなりましたが、「前へ座
さい」という言葉は以前と変わら
ない。そのうえ、黒板に
の授業内容をメモ化し、チエツ
入れながら進行することで、私語

●文教時代の志れられないエピソード

「あるある」一、台風19号（平成3年）

「ああ、あたたかかったよ」と昔を懐かしむねながら先生は話しつづけました。この台風で、体育館の屋根や忍者ラーメンなどが全部吹き飛ばされたそうです。その片付けについて、「学生たちが自分から手付けに来るんじゃない?」といひやせん。と曰く細める先生。当時のドクターオーティーも大事に研究室に保管されてしましました。思わず、「学生が大学を好きなん」が分からずと尋ねる。「彼女たちも1年生の時から『すぐだらう』話題ではない。」と先生。先生は当時の学生たちに、「初めて学に来たときの印象を尋ねられたこと

●今、20代を見た
「パソコンに強い」ところがいいなと思
ふ」と先生。昨年学生相談室にいらっ
しゃる時に、研究室を「喫茶室」若
干の「へり」、と名づけて「オーブン」
馳走するやうで、「学生にコーヒーを
うらたと笑顔で話しておられました。
厳しい中にも学生と親しく接する、先
生らしいオーブン」ですね。

振り分け画 あの先生は今!

～倉田侃司先生～



生の新しいエンブレムですね。
●卒業生・在学生にひと言メッセージ
「パソコンや携帯電話に依存しがちだが、
が、「人間」が相手にしてほしい。暗
喩がでできるだけ、ええ~んよ。そして
教職を目指すなら、文部科学省が考
たりやつたりすることをそのまま受け
入れず、まずは疑つてかかるくらいの音
識を持つ方がよい。」と力説のメセージを
いだきました。

最後になりましたが、倉田先生、緊
張しきりてキヤンバス内で迷子になってしまった
私たちを温かく迎え、おいしいお茶や
楽しい時間をありがとうございました。

趣味は「ドライブすることと本を出版
することよね。」と先生。取材時に
いたいたい「おふくろのいる風景」、熟
年夫婦の「バス旅行」という著書を今も
楽しく読ませてもらっています。